

1. 事業期間  
平成30年4月1日～平成31年3月31日
2. 事業の成果

年度開始から、次々と営巣の報告が届く幕開けとなった。当会設立から4年目としてのBeeForest活動は、これまで続けてきたエリアの拡大はもちろんのこと、念願の作業所兼倉庫を確保したことで丸太型巣箱の製作といった新たなチャレンジを行ない、今後のミツバチ生息実態調査やこれらのデータ蓄積に向け、拡大し続けるビーフォレストの適正な管理に重点を置いた活動である。

この巣箱の管理については、各地の管理者の協力により定期的な見回りを行い、清掃・除草や周辺の安全確保を実施し、その結果を事務局にSNSにて報告。現在、正会員の誰でも状況が把握出来るようになり、日本ミツバチ生息のビックデータ化に向けての基礎固めになると思われる。

さらに、より専門的な意識と経験を持った指導者BeeForester制度《ミツバチと森をつくる指導者》は、現在の管理者の中から経験を積む中で今後が期待されるものである。

### 3. 事業実績（平成31年3月31日現在） ☆巣箱等については、4月末現在で記載

項目	実績	昨年度	増減
○現会員数	111名（正会員105名、賛助会員6名）	104名	7名
○年度中巣箱製作数	102個	138個	▲26個
○延べ巣箱設置数	375個	307個	68個
うち営巣数	39個（営巣率10.4%）	27個（8.8%）	12個
○延べBee Forest 箇所	67箇所	59箇所	8箇所
○巣箱管理者数	38名	—	—

## I 普及活動

### 自主事業

#### ①「日本の森と農業を守ろう」ビーフォレスト・セミナー

小規模ながら家庭的な雰囲気の中で実施される公開セミナー、参加者への普及啓発活動とともに正会員・賛助会員の増員を図る

◆延べ回数3回実施 総参加人数 43名

日時	対象	参加人数	テーマ	備考
7月15日	一般・会員	5名	ミツバチと森をつくる	和歌山県那智勝浦みんなの家
8月19日	一般・会員	17名	日本の森と農業を守ろう！	奈良市はぐみセンターにて
2月24日	一般・会員	8名	日本の森と農業を守ろう！	大和ミツバチ研究所にて
計		30名		

#### ②自然観察会の実施

東大阪市にある枚岡神社を観察場所にして、原則毎月第1日曜日に開催（時間 午後1時～3時）誰でもが参加できる公開イベントで参加者への普及活動とともに正会員・賛助会員の増員を図るネット情報もあってか遠方からの参加者も見られ当会活動の普及活動のベースとなる事業。

9月2日の観察会には、「トヨタ環境活動助成プログラム関係者」の取材があった。

◆延べ回数 全9回実施 総参加人数 140名

### 共催事業

#### ①ミツバチと森をつくるセミナー（主催は（株）モンベル等 生駒山麓公園於）

モンベルが主催する自然養蜂体験を通じた環境学習イベント。

セミナーの企画・進行・管理等はすべて当クラブが請負。

日時	テーマ	対象	参加人数	主催
6月17日	巣箱づくりワークショップ	一般	8名	生駒市生駒山麓公園主催
12月16日	みんなで増やそう日本ミツバチビーフォレスト+プラス	一般	5名	奈良市ボランティア・インフォメーションセンター
12月16日	巣箱づくりワークショップ	一般	5名	生駒市生駒山麓公園主催
3月17日	セミナー・巣箱づくりワークショップ	一般	22名	（株）モンベルコディネートにより実施

## ②出張出前講座

学校、環境活動団体等からの依頼があり、主旨に賛同出来る活動には積極的にセミナーを開催

◆延べ回数4回実施 総参加人数 127名

日時	テーマ	対象	参加人数	主催
4月 5日	ミツバチと森をつくる生活をはじめよう！	一般	18名	和歌山県勝浦色川
7月 29日	大和ミツバチから始まる 里山再生プロジェクト	一般	14名	和歌山県縁 ga 輪
10月 7日	ミツバチが森をつくる不思議展 ミツバチを守ろう！増やそう！	一般	8名	尼崎市 大正ことはじめ学館
3月23日	ミツバチと森をつくる	学生一般	87名	大阪府泉佐野市 SANOTERA
計			127名	

## II Bee Forest 拡大活動

巣箱の設置などにより日本ミツバチの棲む環境作りを行う。ミツバチの繁殖を図ることは、森の草木の授粉を促し、木の実が沢山出来る自然林の再生に寄与。

なお、平成28年度からはじまった「トヨタ自動車環境活動助成プログラム事業」は、巣箱の製作、設置等への助成事業であり、貢献、実績が認められ助成の延長が決定されている。

### ① Bee Forest 調査隊活動

本会の主旨に適合し、巣箱の管理体制が整うかの確認のための吉川浩、吉川明美が事前調査。

今年度は、会員のネットワークが有効的に機能し大幅に進展を見た。

日時	調査場所及び内容
4月19日	大阪府島本町役場町長と職員にプレゼン
4月20日	三重県伊賀市の愛農学園農業高校
4月23日	和歌山県古座川町平井 ころらの養蜂の今昔とニホンミツバチの状況の聞き取り調査
5月7日	奈良県庁農林課部長と面談
5月15日	東吉野 森の月人での会議にて、ビーフォレストのPR
5月21日	和歌山県議の泉氏に那智勝浦での協力要請
5月23日	紀伊長島の2箇所森づくりの現地調査
5月29日	三重県熊野市にある三ッ口山の森づくりの実地調査
5月30日	奈良県北山村の養蜂家にニホンミツバチの状況を聞き取り調査。
6月18日	三重県菰野町「森の風幼稚園」にプレゼン
6月27日	三重県で人工林を混合林化しているところの実地調査
7月22日	兵庫県議の丸尾氏にビーフォレスト活動への協力要請
8月2日	和歌山県みなべ町役場の農林水産部梅振興課にプレゼン
8月28日	和歌山県みなべ川森林組合ビーフォレスト活動説明の上ビーフォレストプラス実施を確約
9月12日	パナソニック大阪に「パナソニックの森でビーフォレストを」プレゼン
9月18日	吉野町町役場の北岡町長にビーフォレスト活動への協力要請
10月3日	兵庫県尼崎市の山崎市議の属する自然農グループにビーフォレスト活動をレクチャー
10月16日	大阪JTにプレゼン
11月14日	和歌山県の那智勝浦町の町長に協力要請。那智勝浦高原公園でのビーフォレスト許可得て視察
11月16日	奈良県吉野町の保勝会でプレゼン
12月11日	近畿大学農学部でプレゼン
12月13日	奈良県奈良市の人と自然の会の芋煮会にてプレゼン
12月21日	奈良県吉野町議中井氏と吉野BFの打ち合わせ。
1月8日	三重県皇學館大学にてプレゼン
1月17日	近畿大学農学部下見
2月11日	大阪府泉佐野市の極楽寺の住職にレクチャー、関西聖和霊園視察
2月14日	吐山野外活動センターに視察

## ② 巣箱作り隊活動

新たなる Bee Forest に設置する巣箱づくりを正会員の活動として実施している。

◆製作個数 102個

月	日	活動・作業内容	参加人数
5月	5日	寸胴作り	
6月	24日	丸太巣箱づくり	
7月	11日	巣箱製作	4名
8月	26日 27日	スズメバチ・ガードの製作	2名
9月	3日、4日、8日、9日、10日 16日、18日、19日、22日、23日、28日、29日	巣箱本体、屋根部分、設置台の製作	43名
10月	2日、5日、10日、14日、15日		9名
合計	述べ日数 20日		58名

## ③ 巣箱置き隊活動

新たなる Bee Forest に巣箱を設置する活動を正会員で実施

日 時	設置場所等作業内容	巣箱設置 移動数
4月 1日	東大阪市枚岡神社	1個
4月 2日	天理市岩屋	3個
4月 2日	大和郡山としや農園	3個
4月 5日	和歌山県那智勝浦色川地区コロコロランド	5個
4月 10日	和歌山県橋本市ソーシャルファームもぎたて梅農園	4個
4月 17日	兵庫県小野市西山町	3個
4月 24日	和歌山県那智勝浦市市野野	3個
4月 29日	鳥取県 江府町	5個
2月 25日	近畿大学農学部	10個
3月 3日	枚岡神社	1個
3月 6日	三重県熊野市	2個
3月 9日	三重県愛農学園	5個
3月 9日	奈良県山辺郡切幡	2個
3月 12日	和歌山県 みなべ川森林組合	10個
3月 13日	和歌山県 那智勝浦高原公園	10個
3月 13日	和歌山県熊野本宮町出合いの里	4個
3月 19日	奈良市高円東	2個
3月 19日	奈良県吉野町	7個
3月 21日	三重県皇學館大学	10個
3月 24日	奈良市	2個
3月 24日	大阪府 関西聖和霊園	7個
3月 25日	奈良県東吉野村	7個
		106個

## ④ 巣箱見守り隊活動

いままでに設置した巣箱並びに新規に設置した巣箱はビーフォレスト管理者を中心に管理される。各地のビーフォレスト管理者は、定期的に見回りを行い、巣箱の清掃、周辺の除草、周辺への安全の確保を行い営巣に向けての管理を行った。また既営巣箱の状況も含めその管理状況報告を事務局に行った。

現ビーフォレスト管理者 38名

### ◎ミツロウぬり隊

上記管理以外に分蜂時期が近づく3月には営巣の促進を図るため桜前線順に塗布を行う。特に管理者の中から「ミツロウぬり隊」結成し、既存の巣箱には、20グラム、新規設置の巣箱には50～60グラムのミツロウ塗布。

徳田信哲、川上敦弘、正垣律子、岡本良城、藤本晃章、谷口誓男、魚野博、上條鎮朗、吉川浩、吉川明美、濱上晋介、田畑公志、端無徹也、中徹雄、大西智康

### ◎スズメバチトラップづくり

昨年に引き続きペットボトルを使ってスズメバチトラップを会員有志で行った。

4月7日 作成個数45個

### III 広報啓発活動

#### ① 「ミツバチと森をつくる会」入会案内パンフレット作成

子や孫、未来の日本のために活動するビーフォレスト・クラブの新たなパンフレット「ミツバチと森をつくる」（A5 サイズ 12 ページ）を 2,000 部作成

#### ② 「ビーフォレスト+プラス」パンフレット作成

#### ③ メディアからの取材等

熊野川地域でのビーフォレスト・ミニイベントを ZTV が取材。みなべ川森林組合と世界農業遺産の南部たなべの梅システムでのビーフォレスト活動が「増やそうニホンミツバチ」として紀伊民報に、那智勝浦町の那智高原公園でのビーフォレスト活動が「ミツバチと森をつくる」として熊野新聞に掲載された。

日 時	内 容
7 月 29 日	ZTV 取材
3 月 20 日	紀伊民報
3 月 24 日	熊野新聞

#### ④ 自然史フェスへの出展

総来場者が 2 万人を超える大阪市立自然史博物館で行われたビッグイベント「自然史フェス」に参加

#### ⑤ PR 用 DVD の製作

いままでに、テレビで放映されたものや自主制作した当会の活動がわかるいくつかの映像を一枚の DVD にまとめた。行政を含め新規ビーフォレスト拡大に資料として配布（40 枚）。